

TIB 輝く受賞企業

> 1 <

た。

TIBオブザイヤーに選ばれたアズマ四国(阿南市)の吉岡明治代表取締役は、売り上げを前年度の4億9800万円から5億8600万円に増やした。空き家管理の新規事業も評価された。2017年にトップに就いた吉岡さんは、売り上げのか」と悩んだ吉岡さんは、

TIBの存在を知り、21年に入会。経営者らと話すうちに、衝突の原因が他人にあると考える「他責思考」から「自責思考」に変わった。話し合いが足りなかったと反省し、それからは自分の思いを丁寧に伝えるようになった。

1976年創業で80年に法人化した。太陽熱温水器の販売から始め、リフォーム事業を中心に、合併浄化槽の工事や維持管理、太陽光発電システムの販売などを手がけてきた。吉岡さんは3代目で現在の社員は21人。古参社員らとの衝突が起った。

社長就任後、採用した新卒者が定着しなかったため、外部の会社に依頼して人材育成を図った。自ら課題を見つけて解決できる社員が増え、会社の生産性が上がり、離職者が減った。

長した人を選ぶ「TIBオブザイヤー」と、最も高い事業成長率を実現した会員に贈られる「グロースオブザイヤー」に輝いた計5社を紹介する。

TIBオブザイヤー アズマ四国

(阿南市)



TIBオブザイヤーを受賞したアズマ四国の吉岡代表取締役(右)＝阿南市羽ノ浦町岩脇

自分の思い 丁寧に伝達

空家管理は、定期的に依頼人の家を維持補修し、物件によってはリフォームして賃貸や販売をする。きっかけは先代社長の父が那賀町の実家をリフォームし、19年に民宿「花瀬庵」をオープンさせたことだった。吉岡さんも空家管理を通じ、リフォームした物件を貸し出して花瀬庵と同じような民泊を開業してもらおうと考えている。「自然を体感するツアーなども開催し、町の良さを知ってもらおう。移住者を千人呼び込みたい」と語った。(林啓二)